

燃えること！ 夢中になること！ 真剣になること！

今年で10年目を迎える「立志塾」11月度の講師に、株式会社タビオ会長越智直正氏を迎えました。

越智会長との出逢いは、平成10年2月に開催された、「孫子の兵法セミナー」でした。切れば血の出るような鋭い、実務を通じて会得されたものと判る解説に、私は魅了されました。それ以降、10年間、毎月1回、大阪の天満橋で開催される“関西素行会”に通い、古典や経営の真髄を教えていただきました。

久しぶりにお会いした越智会長の一言目が「山川はん、わしも今年80歳になりましてんや。今年（立志塾の講師）が最後になるなあ」でした。嗚呼、いつまでも甘えてられないのだと、寂寞としたものを感じました。

「社長は、燃えて生きなあかんで。嘘やないで！」「夢中にならなあかんで！」「真剣になれば、何とかなるもんや。嘘やないで！」

「社長は、燃えて、燃えて、夢に酔うて、渦の中心になることや。そして、社員を巻き込んでいくことや。真剣にやれば、思った通りになるもんや。頭の良し悪しを超えられるし、そうでなかったら、まだ、燃えてない、夢中になってない、真剣になってないということやで」

「問題が判れば、答えは出る。みんな、問題が判らず、迷っているんや」

いつになく、丁寧に、何度も、噛み砕いて、若い参加者の皆さんに、説いて下さいました。私は、熱いものがこみ上げて来るのを、押さえることが出来ませんでした。

「立志塾」は、若手経営者を育成することを目的として、平成22年7月から始まりましたが、来年の8月末日で、私が引退しますので、今回が最終回となります。

同時に、越智会長から、重い宿題をいただいたようにも感じました。

何冊も、本を出され、また、沢山のハガキ・手紙を頂戴し、時にレジメを作成して下さいました。これら、一つ一つが、越智会長から私への“遺言”ではないか。

次は、お前の番だと、言っておられるのかと思った時、肅然として襟を正しました。そういえば、かつて越智会長が「恩返しはいらん。恩送りや」と、誰かに対して話しておられたことがありました。

一旦、「立志塾」は終了ですが、日本の将来のため、日本の中小企業のため、燃えて、夢中になって、真剣に取り組んでまいります。



今月のポイント

令和元年、12月をがんばり、

来年に、つなげよう。